

事項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「きみまる（系統名北交72号）」の特性		
ねらい	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「きみまる（系統名北交72号）」が既存の奨励品種と比較して耐病性及び収量性に優れることが明らかとなったので奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴 国内で育成されたFR7918（デント種）×Ho95（フリント種）の単交雑一代雑種であり、平成28年から販売が予定されている。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア106日（系統名36B08）」との対比）</p> <p>(1) 初期生育は優れる。 (2) 生育日数は5日程度遅い早生品種である。 (3) 倒伏の発生はなく、耐倒伏性は優れる。 (4) 病害の発生は少なく、耐病性は優れる。 (5) 乾物収量は3か年平均で105%の多収を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部（0175-64-2791）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成24年度 東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「きみまる（北交72号）」の生育特性及び収量

(平成22～24年 青森畜産研)

系統名	年次	初期生育	絹糸抽出期 (月/日)	刈取日 (黄熟期) (月/日)	生育日数 (日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	倒伏 (%)	折損 (%)	病害 (%)		乾物収量		雌穂割合 (%)	TDN含有率 (%)
										すす紋病	紋枯病	総重 (kg/10a)	標準比		
北交72号	平22	8.7	7/29	9/21	134	237	108	0.0	1.1	2.0	4.4	1,783	107	55.9	70.5
	平23	6.3	8/2	9/20	133	264	124	0.0	0.0	1.0	23.6	1,746	98	56.2	70.6
	平24	8.0	8/5	9/24	136	262	125	0.0	1.1	1.0	14.4	1,996	111	59.2	71.4
	平均	7.7	8/2	9/22	134	254	119	0.0	0.7	1.3	14.1	1,841	105	57.2	70.9
36B08 (標準品種)	平22	7.3	7/26	9/13	126	191	78	0.0	0.0	2.0	11.3	1,670	100	57.2	70.9
	平23	6.3	7/30	9/16	129	230	92	0.0	0.0	3.7	16.7	1,780	100	57.9	71.1
	平24	5.7	8/4	9/21	133	227	94	0.0	0.0	1.0	32.6	1,804	100	60.0	71.6
	平均	6.4	7/31	9/17	129	216	88	0.0	0.0	2.2	20.2	1,751	100	58.4	71.2

- (注) 1 初期生育は9（極良）～1（極不良）とする評点法による。
 2 すす紋病は被害程度と被害面積に応じて1（無）～9（甚）とする評点法による。
 3 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。
 4 TDN推定式：56.0+0.26×雌穂割合。

耕種概要

項目	内 容
試験圃場	畜産研究所内圃場（平成24年で連作5年目の圃場）
播種期	平成22年5月10日、平成23年5月10日、平成24年5月11日
栽植密度	7,017本/10a（畝間75cm、株間19cm）
施肥量	N-P ₂ O ₅ = 10-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a
除草法	播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2～4葉期に茎葉処理剤を散布